

# Cell Society 1<sup>st</sup> Annual Clinical Meeting

2011/2/18-19



カリフォルニア州サンディエゴにて開催された『[CELL SOCIETY](#)』に  
池本先生・齋藤先生が参加しました。

# 1日目



今回はレンタカーでの移動となります。  
真っ青な空と海を眺めながら目的地へ向かいます！



サンディエゴに到着し、街並みを楽しみました。



映画「TOP GUN」の撮影現場(上段)や博物館として公開されている空母Midway(下段)の観光を楽しみました。

## サンディエゴ1日目

今回第1回Cell Societyに参加すべく、サンディエゴにやってきました。  
LA国際空港でレンタカーを借り、なんと、ベントスUVでテンションがあがりました。  
LAからサンディエゴまでの道のりは、右手に西海岸の景色を眺めつつ、約2時間であっという間に到着しました。

今日は、学会前日で特に予定がなかったので、サンディエゴの中心街であるダウンタウンを散策しました。第2次世界大戦から長年数々の歴史的な戦いを経てきた空母Midwayの博物館や映画「Top gun」でトムクルーズが友人と実際食事をしたバーを訪れたりと観光を満喫しました。

明日は、学会初日であり、今日は早く寝たいと思います。

斎藤 裕

## 2日目



学会会場となった「[ESTANCIA LA JOLLA HOTEL&SPA](#)」



会場内でお会いした[cytori](#) 岩畔先生



テキサスのPlastic Surgeryである  
David G Genecov,MD



前東京大学第一内科教授で現在政策研究大学院大学教授の黒川先生(右)



学会後はパーティーにて、様々な施設の先生方と交流しました。

## サンディエゴ2日目

この日は朝7時半から夕方まで、学会会場にこもりました。午前中はどちらかというと、ADRCのビジネスの話が主体であり、時差ボケもあってか何回も失神しそうになりました。

午後からは、乳房再建・心筋梗塞・腎不全・Sepsis etc.におけるADRCを用いたclinical trialの話でした。現時点で、世界では約5400人、約100 trialのADRCが行われています。概ねbasicな話は少なく、ADRCの作用機序の詳細に関しては不明でした。

東京大学形成外科 吉村先生は豊胸手術におけるADRCの話をされていましたが、実際stem cellとしての細胞は非常に少なく、採取されていないことも時々あるとのことで、stem cell以上にmixed cell (endothelial cells、endothelial progenitor cells、vascular smooth muscle cells etc.)の重要性を指摘していました。

また、急性ST上昇心筋梗塞(STEMI)でプライマリPCIを受ける患者を対象に行われたADRCの注入療法であるAPOLLO試験(前向き二重盲検、無作為化プラセボ対照試験)の成果で、オランダErasmus大学医療センターのHenricus J Duckers先生が発表されていました。trialには、14人のAMI患者が参加しており、患者はプライマリPCI後から24時間以内に無作為に、冠動脈内経路注入群(ADRC群、10人)とプラセボの冠動脈内経路注入群(プラセボ群、4人)とに割り付けられています。対象となったAMI患者における脂肪吸引術とADRCsの冠動脈内注入術は全員に対して安全に実施され、忍容性も良好でした。ADRCs注入による循環閉塞はほとんどなく、有害事象は1人の患者に血腫形成を認めたほかは、特に目立ったものはなかったとのことでした。一方、効果の面では、まずSPECT画像による解析で左室駆出分画率(LVEF)の治療前と6カ月後の変化をみたところ、プラセボ群は-1.7ポイントの変動だったのに対し、ADRC群では4.0ポイントの改善を示し、両群の差は5.7ポイントで有意差はありませんでしたが、ADRC群の方で改善傾向を認めたとのことでした。

どのtrialも安全性や認容性の確認はされてはいるものの、観察期間の短さ・対象患者数の少なさもありますが、実際の臨床的効果としては疑問が残る結果でした。

夜はcytori®主催のパーティーに参加し、実際clinical trialを行っている施設、一歩手前の施設、基礎的研究段階の施設、様々な施設の先生方とお話できて、非常に充実した時間を過ごせました。結局日本では、ヒト脂肪由来幹細胞指針(ヒトカン)という厚生労働省が設ける倫理委員会ですが、その壁を超えるのにどの施設も苦勞しているようで、鳥取大学再生医療分野の山本先生は、ここ最近では昼夜その資料作りに追われているとのことでした。学会もそうですが、夜のパーティーで色んな情報交換ができたことが、何よりよかったのでは、、、とも思いました。

斎藤 裕



## サンディエゴ3日目

学会は昼までで、午後からはサンディエゴのcytori®本社の見学に行きました。まず、入るや否や、3人のDr.の大きな写真がかざられており、そのうち1人は前九州大学第2外科教授の杉町圭蔵先生でありました。ラボ自身はそれほど大きくはなく、この日が土曜日で休日であり、実際の研究風景は見られませんでした。cytoriの脂肪分離機は、すべて手作り作業で行われており、その部門のチーフは以前、フェラーリでの作業工程に携わっていたそうです。内部は写真撮影が禁止されていたので、お見せできないのが残念ですが、、

夜は、池本先生と男2人で雰囲気の良いステーキハウスを予約して行きました。さっそく、店員が「Your Birthday??」とか聞いてきて、ゲイと勘違いされているのかと思い、かなりの早さで「No!!!」と力強く答えてしまいました。ステーキはかなり美味で、ワインもNapa Wineを知った気に注文しましたが、「飲み会で笑顔を振りまく、明るい感じ」に近い味でした。

斎藤 裕

## 4日目



お世話になった岩畔先生と記念撮影をし、帰路につきました。

朝6時半にSan Diego出発し、車で約2時間LAXに到着しました。

今回、先輩の池本先生の英語力・行動力・運転力に頼りっきりの旅でした。池本先生、心から感謝しております、お疲れさまでした。

齋藤 裕